

企業現場見学会の紹介

はじめに

産学交流委員会に属する人材交流小委員会が、本年から企画します「企業現場見学」について紹介します。

企業現場見学会の特徴と対象

化学産業は日本を支える重要な産業です。実際化学産業の付加価値額 15 兆円、研究費 2.3 兆円（2010 年）は日本の産業界で 1 位の位置にあります。このような化学産業の現場である工場を見学、さらにはそこで企業の方から話を聞くことは、化学分野の研究者、技術者を志す学生の方々にとって将来の指針を考える上で価値があるものと考えます。

今回、進学、就職の判断材料としての現場見学を行う機会を日本化学会が中心となり、企業の協力を得て実施しますので、是非参加されることをお勧めします。

今年のラインナップ

今年度は、次の 4 社の協力を得て現場見学を行う予定です。それぞれの現場見学の概要をお知らせします。詳細は下記、WEB ページをご確認ください。

URL : <http://www.chemistry.or.jp/event/sangakuEvent/>

〈味の素株式会社〉

日程：9 月 22 日(金)13:00～16:30

会場：川崎工場および研究所

1908 年、帝国大学（現東京大学理学部化学科）教授の池田菊苗博士は、粗食を調味料で美味しくすることにより、当時の日本人の栄養状態を改善したいという志から、昆布だしの味がアミノ酸の一種であるグルタミン酸に由来することを発見、製造方法を発明され、翌年に世界初のうま味調味料が発売されました。今回

は、1914 年から生産を開始した川崎工場です。うま味調味料の歴史と製造法を知っていただきます。さらに、味の素(株)研究所と味の素ファインテクノ(株)を見学することで、アミノ酸を基軸として、様々な分野に発展している研究開発・事業拡大の歴史と未来について、理解を深めていただきます。

〈花王株式会社〉

日程：9 月 13 日(水)13:00～16:00

会場：和歌山工場・エコラボミュージアム

1887 年の創業以来、花王は「よきモノづくり」を愚直なまでに追求してきました。地球環境や社会に配慮した取り組みを進め、花王はこれからも暮らしに変化を提供し続ける企業でありたいと考えています。今回は、1942 年に設立した和歌山工場で見学会を行います。ここはグループ最大の研究・生産拠点で、シャンプー、リンス、衣料用洗剤といった家庭用製品から多種多様な工業用製品まで生産しています。家庭用製品の生産工程や、エコテクノロジーリサーチセンター 1 階にあるエコラボミュージアムを見学し、創業より続く「絶えざる革新」の歴史について、理解を深めていただきます。

〈株式会社ブリヂストン〉

日程：9 月 25 日(月)13:00～17:00

会場：東京都小平市技術センター

ブリヂストンはタイヤの売上世界 1 位であり、このダンツを支える技術が小平市にあるブリヂストン技術センターか



乗用車用タイヤ

建築用免震ゴム

ら世界各地に発信されます。分析研究および IT 技術の設備やゴムとタイヤの博物館の見学を通してタイヤ技術の基本について理解を深めていただきます。

〈東レ株式会社〉

日程：9 月 7 日(木)13:00～17:00

会場：三島工場、企業文化フロア

日本の繊維産業は、戦後日本の経済成長を支えてきました。その後研究・開発により機能性繊維の開発等による衣料用繊維の深化とともに、繊維の技術を進化、発展させることによって炭素繊維、水処理膜等に展開しています。今回は、繊維の製造工程、そのアウトプットとしての製品群を見学することで、日本の繊維産業、その発展についての理解を深めていただきます。



衣料用繊維

炭素繊維

水処理膜

おわりに

今回の企業現場見学は、人材交流小委員会の企業にお願いしました。来年度以降については、会員各社様からの現場見学の提案をお待ちしております。見学の提案、企画内容の改善等、本企画へのご要望もお願いします。

E-mail: sangaku@chemistry.or.jp

〔産学交流委員会 人材交流小委員長
長瀬公一（東レ）〕

© 2017 The Chemical Society of Japan